



おすすめ児童書2月



啓林堂書店 外商部

担当 森川・蔵田・渡辺・八部

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <http://www.books-keirindo.co.jp/>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>ないしょでんしゃ</p> <p>作 薫くみこ 絵 かとうようこ</p> <p>¥1,296</p>
	<p>つらら</p> <p>写真 細島雅代 分 伊地知英信</p> <p>¥1,620</p>

もりのてつどうは冬の間は雪が溶けるまでお休みです。大掃除が終えた駅長さんはホッと一息。電車の中で寝てしまいました。すると、シーゴトン、ナイショ ナイショ・・・と音を出しながら電車が動きだして…。運転しているのは誰？電車はどこへ行くの？しかけも楽しい絵本です。

ひさかたチャイルド : 2012年 発売

つららを見たことありますか？つららってどうやってできるのかな？寒ければ寒いほど、つららはできるという感じがしますが、実はちがうのです。寒すぎず、暖かすぎず、ちょうど良い気温が大好きなんです。つららの不思議さがよくわかる写真絵本です。巻末には「冷蔵庫でつららが作れる実験ページ」と「つららの名前地図」も収録。

ポプラ社 : 2019年 発売

▽ 小学生以上

	<p>ゆきむすめ</p> <p>再話 内田莉紗子 画 佐藤忠良</p> <p>¥972</p>
	<p>「いたいっ！」がうんだ大発明</p> <p>文 バリー・ウィッテンシュタイン 絵 クリス・スー 訳 こだまともこ</p> <p>¥1,512</p>

こどものいない老夫婦が雪で「ゆきむすめ」をつくりました。すると不思議なことに、本当のむすめになったのです。喜んだ2人は、ゆきむすめを大切に育てました。やがて春になり、ゆきむすめは元気がなくなっていき老夫婦はたいそう心配しました。そして、夏が訪れ…。切なさが残る終わり方をします。けれども、いろいろな受け止め方、読み方ができるロシアのお話です。

福音館書店 : 2007年 発売

「必要は発明の母」ということばがあります。今から100年程前、この物語の主人公アールさんはジョゼフィーンさんと結婚しました。ところがジョゼフィーンさんは何をやってもぶきっちゃん！台所で「いたいっ！」「あつっ！」の声。その声を聞いてアールさんは心が痛みました。そこで…。ジョゼフィーンさんのおかげでアールさんは「救急ばんそうこう」の大発明をするようになったのです！どの発明にもそれが生まれるまでの物語が隠れていて、本当に興味深く読める絵本です。

光村教育図書 : 2018年 発売